



羽合小学校 学校通信

平成26年7月3日 NO, 57

スタート地点

昨日は、学校通信にhyper-QUの「学校生活意欲プロフィール」のグラフをたくさん載せましたのでびっくりされた方もあったのではないのでしょうか。申し訳ありません。わたしたちの羽合小学校では、年に2回この検査を行っています。この検査は、**教育実践の前と後に実施することによって、指導効果の評価や検討に使うことを目的**に行います。わたしたちは、よりよい学級集団を作るために、学級経営に取り組んでいますから、今回のこの検査は、**平成26年度の各学年・学級のスタート地点**を示します。学校通信で学校の教育研究に関する考え方をお伝えしているとおり、わたしたちは**学級集団が出来上がり、学校生活への意欲が向上することは学習への意欲を向上させること**であり、**意欲が向上すれば学力は向上するのだ**という考え方を持っています。今後の取り組みの成果と課題については、2回目の検査の後、お知らせしたいと思います。また、個人票については懇談でお渡しできると思います。

さて、このhyper-QUですが、検査によって3つの尺度で学年や学級、個人の状況を

捉えることができます。

1つは「**学校生活意欲**」です。これは「**やる気のある学級を作るためのアンケート**」から導き出したもので、今回お知らせしているのは各学年の5月における状況です。友達関係や学級の雰囲気、学習意欲の3つの観点から状況を示しています。全国的な傾向と比較することで、学年や学級の傾向をつかむことができます。

2つは「**学級満足度**」です。これは「**いごちのよい学級にするためのアンケート**」から導き出したもので、友達や教師から認められているか、不適応感やいじめ、冷やかしなどを受けていないかといった視点で学級や子どもたち一人ひとりの状況をつかむことができます。

もうひとつは「**ソーシャルスキル**」です。これは「**普段の行動をふりかえるアンケート**」から導き出したもので、対人関係の基本的なマナーやルールが守られているか、人と関わるきっかけや関係の維持ができていのかどうかをつかむことができます。

わたしたちは、このような視点で取り組みを検証しながら一人ひとりの子どもたちや学級集団を育てようとしています。

【うれしい話】

7月1日の午後、先日の赤ちゃん登校日でお借りしていたマットを役場の子育て支援課の方が取りに来られました。その時、**5年生の男子**がマットを次々運んでくれたとのこと、うれしいですね。でも、何よりうれしかったのは「何かあったら教えてください」と、今、手伝った作業だけでなく次に何かすることがないかを求めたことでした。**期待をもうひとつ越えてくれました。**

また、それを教えてくださった役場の方にも感謝します。ほめていただいたことがみんなの心に届きました。

羽合小学校 寺谷英則